

さいと 市議会だより

第 69 号

平成 24 年 8 月 1 日発行



伊東マンショ
没後 400 年記
念事業のシン
ボルキャラク
ター

4 年ぶりに開催された「第 35 回西都支部消防操法大会」



今後の主な記念事業の取り組み

- ◆ 十月二十七日（土曜）
駐日サンマリノ共和国大使による記念講演等
- ◆ 十一月十一日（日曜）
記念式典・古楽器による演奏会等

●五月臨時会の概要●

平成二十四年第二回臨時会は五月八日に招集。議長・副議長の選挙、常任委員・議会運営委員・特別委員会委員の選任などが行なわれました。また、市長提出議案五件について審議を行い、いずれも原案可決としました。

●六月定例会の概要●

平成二十四年第三回定例会は六月七日に招集。同月二十五日までの会期で、市長提出議案十三件、報告案件二件、議員提出議案四件、請願二件、陳情三件について審査を行いました。その結果、市長提出議案十三件のうち、人事案件五件については二件を同意、三件を適任とし、八件を原案可決としました。また、議員提出議案四件についても原案可決としました。請願については一件を採択、一件を継続審査とし、陳情については一件を採択、一件を不採択、一件を継続審査としました。なお、平成二十二年度決算に係る十二件については、継続審査としました。

一般質問では八名の議員が登壇し、市長の政治姿勢、農業行政、教育行政、健康・保健・福祉行政、防災行政、消防行政等に関する質問を行いました。

主な掲載内容

- ◎議 会 構 成・・・P 2
- ◎永 年 勤 続 表 彰・・・P 2
- ◎議 案 審 議 結 果・・・P 2 ～ 3
- ◎一 般 質 問・・・P 3 ～ 6
- ◎請願・陳情の審査結果・・・P 6
- ◎可決された意見書・・・P 6

議会構成が決まりました。

臨時会が五月八日に開かれ、議会構成等が決まりましたのでご紹介します。

(◎委員長 ○副委員長 敬称略)

議長 井上 司

常任委員会

▼総務常任委員会

◎中野 勝 ○吉野元近
荒川昭英 吉野和博
黒木正善 井上 司

▼文教厚生常任委員会

◎黒木吉彦 ○狩野保夫
橋口登志郎 岩切一夫
中武邦美 北岡四郎

▼産業建設常任委員会

◎兼松道男 ○太田寛文
恒吉政憲 井上久昭
河野方州 荒川敏満

特別委員会

▼新田原基地対策

調査特別委員会

◎荒川昭英 ○橋口登志郎
岩切一夫 恒吉政憲
兼松道男 北岡四郎
黒木正善

議会運営委員会

◎北岡四郎 ○中武邦美
橋口登志郎 太田寛文
黒木吉彦 荒川昭英

監査委員

中武邦美

西都児湯環境整備

事務組合議会議員

井上 司 狩野保夫

一ツ瀬川営農飲雑

用水広域水道企業団

議会議員

井上 司

議案審議結果

第二回臨時会 五月 及び第三回定例会 六月 で審議された議案の概要と結果

●全会一致で可決
■賛成多数で可決

条例関係

*第三回定例会 六月

●西都市市税条例の一部改正について
■西都市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について

■西都市国民健康保険条例の一部改正について

●西都市火災予防条例の一部改正について

予算関係

*第二回臨時会 五月

●平成二十四年度(西都市)一般会計予算補正(第一号)について
(農林水産業費、衛生費に総額一千百三十三万四千円の増額補正)

全国市議会議長会

永年勤続表彰

このほど、井上司議長、中野勝議員が議員十年永年勤続の功労により、全国市議会議長会から表彰されました。



井上 司 議長



中野 勝 議員

昭和十八年生 平成十四年初当選 現在二期目。この間、新田原基地騒音対策調査特別副委員長、総務委員長等を歴任。

*第三回定例会 六月

■平成二十四年度(西都市)一般会計予算補正(第二号)について
(総務費、労働費など総額四千五百八十四万九千円の増額補正)

■平成二十四年度西都市国民

健康保険事業特別会計予算補正(第一号)について
(平成二十四年度国民健康保険税の賦課額決定などに伴う四十万九千円の増額補正)
●平成二十四年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第一号)について
(平成二十四年度介護報酬改定に伴う一千百三十二万八千円の減額補正)

その他

***第三回臨時会 五月**
●専決処分(承認)を求めることについて
(特別交付税及び市債の決定などに伴う予算補正)
●専決処分(承認)を求めることについて
(後期高齢者医療特別会計の健康診査委託料の不足に伴う予算補正)
●専決処分(承認)を求めることについて
(地方税法等の一部改正に伴う市税条例の一部改正)
●専決処分(承認)を求めることについて
(地方税法の一部改正に伴う国民健康保険税条例の一部改正)

*第三回例会 六月

●監査委員の選任について
神田守氏(新任)
●教育委員会委員の任命について
土橋里美氏(新任)
●人権擁護委員候補者の推薦について
齋藤武征氏(再任)
●人権擁護委員候補者の推薦について
黒木いく代氏(再任)
●人権擁護委員候補者の推薦について
黒木功氏(再任)
●西都児湯環境整備事務組合規約の変更について

議員提出議案

***第三回例会 六月**
●基地対策予算(増額等)を求める意見書案の提出について
(一)
●公的年金の特例水準二・五パーセントの解消に反対する意見書案の提出について
●三十人以下学級実現・義務教育費国庫負担二分の一還元を求める意見書案の提出について
(一)
●西都市議会委員会条例の一部改正について

一般質問

六月十四・十五・十六日に八名の議員が発壇し、市長の政治姿勢をはじめ、市政全般にわたって質問を行いました。

市長の政治姿勢 教育行政、救急医療について
政友会 橋口登志郎

問① 次期西都市長選出馬意向について伺いたい。

答 二期七年、市民と共に足腰の強い自立した地方自治作りのため行財政改革、意識改革に取り組んだ。二期の間、台風十四号、口蹄疫災害、救急病院問題等の課題に「為せば成る」の精神で乗り越えてきた。「市民が主役」「元気な故郷西都」づくりを目指しながら、本市の「復興・再生」から「創生」へ向け、三期目の市長選出馬を決意した。

問② 市長選にあたっての基本姿勢について伺いたい。

答 七つの基本姿勢を考えている。一、市民目線で公平公正な政治 二、安全・安心社会の構築 三、郷土愛や国家愛に燃える人づくり 四、地方の自立化を推進 五、改革と創生の市政を実行 六、次

世代社会に適合したシステムの構築 七、元気なふるさと西都づくり、の七つである。

問③ 新学習要領と西都の教育について伺いたい。

答 知徳体のバランスのとれた「生きる力」を育む目的であり、特に「英語教育」「さいと学」に反映させている。

問④ NIE(新聞を教育に)について伺いたい。

答 妻南小・都於郡小・三納中が実施した。考えを深めたり、表現する力に成果が出た。社会科の学力が向上した。



まがたま館でのスポーツ合宿の様子

問⑤ まがたま館の活用について伺いたい。

答 市内外PTA、子ども会、小中学校等青少年関係団体等への利用促進、利用者の範囲について全庁的に協議する。

指定管理者制度導入等検討したい。

問⑥ 二次医療圏見直し検討について伺いたい。

答 地域住民の利便性低下、医療の過疎化を招くので西都児湯二次医療圏維持に向けて要望していく。

人口の動態推移と農業振興対策について
思いやり 河野方州

問① 伊東マンショ没後四百年記念事業と城址まつりとの関わりについて伺いたい。

答 十一月十一日の記念式典と演奏会は合同開催とする。

城と合わせたガイダンスセンター建設にも取り組んでいく。

問② 市の人口推移と自然・社会動態について伺いたい。

答 市の人口は平成十年から二十三年までに、三千五百九十人減少し、今年四月現在では三万二千五十三人であり、三十二年の目標人口を三万人とし、それに努力していく。出生と死亡による自然動態での減少数は、平成十年の八人に対し、二十三年では二百三十五人となり、少子高齢化が進んでいる。転入と転出によ

る社会動態での減少数は、平成十年で百八十人、二十三年は百五十九人となっている。

問③ 市の営農技術指導員の導入について伺いたい。

答 六次産業化の加工、販売に特化した者、大学等と連携し新作物や新技術を開発する者、農業と観光の農商工連携を進める者、このような分野に精通した職員を育成しようと考え検討している。

問④ 鳥獣被害対策について電気柵の需要が拡大しているが、市の単独事業での助成措置は出来ないか伺いたい。

答 ムジナ用箱な二個、鹿、猪用電気柵と爆音機で十一件分では不十分と考えるので、県へ助成額の増額を要請すると共に、市としても単独事業での助成措置を、前向きに検討していきたい。

問⑤ 農道整備生コンについて、要望に応じえる支給基準の見直しと、予算額の増額は出来ないか伺いたい。

答 原材料費の支給について、要望や申請状況を見て、必要となれば、支給基準の見直しと合わせて、予算額の増額も検討していきたい。



伊東マンショ没後400年記念事業

通学道路の安心・安全対策と 市営団地有害虫対策 公明党 吉野元近

問① 西都市内で平成十五年から平成二十三年までの九年間に小学・中学・高校生の交通事故の件数と年平均の数を伺いたい。

答 事故件数は二百七件で、小学生七十三人、中学生が四十七人、高校生が八十七人で、年平均小学生八人、中学生五人、高校生九・六人で一年間では約二十三人である。

問② 交通事故の要因について伺いたい。

答 出会い頭の衝突事故が約三割を占めている。

問③ 児童・生徒の交通安全

対策として、道路標示と標識について、又歩行者用の信号機設置について伺いたい。

答 要望書が上がれば調査し、県公安委員会に提出したい。

問④ 歩道の対策について伺いたい。

答 県道については、県に要望を伝えていく。

問⑤ 交差点や信号機のない横断力所での街路灯の設置について伺いたい。

答 県道については、県に要望を伝えていく。

問⑥ 学校での交通安全講習会について伺いたい。

答 年度初めに交通安全教室を開催し交通安全に関する知識、正しい道路歩行や横断の仕方、また自転車運転時のマナーや事故防止等、交通安全協会等の協力を得ながら、児童生徒の安全意識を高める取り組みを行っている。

問⑦ 通学路の対策で交通安全マップについて伺いたい。

答 現在取り組んでいる。大変重要であると考えている。

問⑧ 市営団地の有害虫対策について伺いたい。

答 しらあり・蜂類・ドク蛾類等については、市の方で対応する。それ以外のムカデ等

は、管理人さんと話し合いを持ち、共益費等で対応できないか協議していきたい。

地域医療と一ツ瀬川改修、市道管理について 新緑会 北岡四郎

問① 超高齢化社会を背景として、誰もが住み慣れた地域で継続的に、生活できるための対策として、急性期病院、災害拠点病院、早期社会復帰に向けた医療の充実、介護等包括ケアシステムなどを含めた地域医療の確立が必要である。見解を伺いたい。

答 予防と治療、医療と福祉、介護の一体化、救急医療や災害時医療の拠点施設などに取り組む必要がある。

問② 地域医療に取り組む場合、なにが一番問題になるか伺いたい。

答 医師不足とそれから発生する診療科目の偏在である。

問③ 新病院はどういう位置づけの病院か伺いたい。

答 中核的な二次救急医療機関及び災害拠点病院と聞いている。

問④ 一ツ瀬川河川改修で杉安橋上流二百メートルの位置

付けは、どのようにしているのか伺いたい。

答 事業費一億五千万円で測量及び詳細設計を実施する予定の中含まれている。

問⑤ 中山間地域における市道は、生活道路であり、産業道路でもある。地区の方が六キロから七キロを年に二回から三回、重機等も使い管理を行う。画一的な管理規定を見直しすべきである。見解を伺いたい。

答 検討します。

問⑥ 市民会館を指定管理者制度にしたのは、市民サービスの向上が一番だと考えるが、公演時に限り物品等の販売は出来ないものか伺いたい。

答 他市の状況を踏まえ前向きに検討したい。

問⑦ 林業行政について伐採における、立木の境界立会届出の義務付について伺いたい。

答 森林法により義務付は出来ませんが市独自の立会確認事項を設けた。

農業・観光・防災・環境行政 について 新緑会 岩切一夫

問① 口蹄疫の復興について。



木造園芸ハウスでのピーマン栽培

イ、二十四年度で終了する繁殖雌牛更新対策事業を来年度以降も継続してはどうか伺いたい。

答 二十四年度の更新状況を見ながら継続していきたい。

ロ、今後も消石灰の配布を続けてはどうか伺いたい。

答 消石灰を配布することは防疫啓発活動になるので、配布していきたい。

問② 木造園芸ハウスを造る事によって、県産材の消費拡大にもつながり林業活性化の一助になるがお尋ねしたい。

答 山林の保護、育成、林業家の意欲高揚のため大変素晴らしいと思う。調査、確認等の諸問題がクリアできたら、普及に向けて取り組んでいきたい。

問③ グリーンツーリズムについて。農林漁業家民宿推進事業費補助金百五十万円の用途は、活用方法を伺いたい。

答 農林漁業家民宿の開設に係る住宅リフォーム事業の経費に対して補助対象経費に二分の一を乗じて得た額または五十万円のいずれか低い額を助成する。

問④ 防災行政について。避難訓練が高速道を使って行われた中の意見にもう少し近くに避難階段を設置してもらいたいとあったが、設置はどうか伺いたい。

答 高速道、国道二百十九号の待避所部分について、所管の道路管理者と協議して、ぜひ設置していく。

問⑤ 環境行政について。高齢者運転免許返納メリット制度の特典を現在の入浴料一年間有効を永年にして、またタクシー運賃の割引はできないか伺いたい。

答 制度の特典を充実して行くことは返納しやすい環境を整えることであり、警察及び事業者と協議していく。

一ツ瀬川の改修と西都児湯医療センターについて

新さいと 荒川昭英

問① 一ツ瀬川河川改修事業の進捗状況と今後の事業計画について伺いたい。

答 平成二十二年、二十三年度で調査及び概略設計を実施した。平成二十四年度は一億五千万円の予算で、杉安橋右岸から下流三キロメートル区間における堤防補強の測量及び詳細設計や穂北橋から山角橋間の河道の設計を行う。

問② 早期に河川改修を完成してほしいが考えを伺いたい。

答 危険性の高い箇所から整備を進め、早期の完成と必要な予算の確保をめざして国や県に要望して参りたい。

問③ 市の水道水は良質な水であると思う。おいしい水をアピールして、市の活性化につなげてはいかか伺いたい。

答 西都の水はおいしいと感じている。水質が安定し恵まれていると思う。定住促進事業や観光事業の中でアピールして行きたい。

問④ 医療センターでの一次救急と二次救急医療の二十四時間、年間を通しての医療体制が必要と思うが伺いたい。

答 医療環境を構築することは重要である。一次・二次救急医療体制を充実するために

は医師の確保や地元医師会等の協力が必要である。患者の動向を踏まえて一次・二次救急医療の充実を図り、医療センターを拠点とした医療提供体制の構築を進めて参りたい。

問⑤ 医療センターの新たな病院建設計画に関して考えを伺いたい。

答 西都児湯医療圏の中核病院としての機能が十分でない等の状況にある。地域住民にとつて利便性が高い場所に移転することが必要と考える。特に災害拠点病院としても、その整備強化は重要な課題であり、それらを踏まえた病院施設として建設されるものと期待している。

大飯原子力発電所の再稼働に対する見解は

共産党 狩野保夫

問① 大増税計画に対する見解を伺いたい。

答 目指すべき社会保障制度の方向性について合意された上で、必要な財源として消費税増税が必要であるなら止むを得ないと思う。

問② 原発を再稼働させることは無謀であり中止すべきで

ある。九州には川内・玄海原発もあり、福島原発事故はよそ事ではない。大飯原発再稼働に対する見解を伺いたい。

答 我が国のエネルギー需給の現状を考えると、万全の対策を講じた上での再稼働は止むを得ないと考えている。

問③ 新エネルギー導入に向けた取り組みを推進するため「西都市新エネルギービジョン」の策定を提案したい。

答 県においても「新エネルギービジョン」の策定を目指すとのことであり、西都市でも県の内容を踏まえながら「西都市新エネルギービジョン」の策定を検討したい。

問④ 防災士はNPO法人日本防災士機構が認定した人である。自主防災組織を広げ、地域防災対策を強化するためにも防災士資格者養成に取り組まれることを提案したい。

答 ご提案のとおり、多くの防災士養成に取り組む必要があると考える。防災士取得には「認証・登録費」が必要であるが、その費用については全額助成したい。

問⑤ 現在、宮崎県内に七つある「二次医療圏」の見直し

療園が他の医療圏に統合された場合の影響について見解を伺いたい。

答 西都児湯医療圏が統合された場合には、医療の過疎化を招くことが明らかであると考えるので、西都児湯地域の現状の医療環境を踏まえた意見要望により、二次医療圏の存続を強く求めたい。

児童・生徒の安全、安心な通学路の確保について
如水会 恒吉政憲

問① 通学路は、児童・生徒にとつては教育環境の一部である。安全・安心な通学路の確保に、どのように取り組むのか伺いたい。

答 ハード面での通学路の危険箇所については、民生児童委員協議会や学校からの要望を踏まえて現地調査を行ない、改善可能なものは速やかに工事をし、安全性の向上に努めている。またソフト面での交通安全意識の高揚や啓発については、警察署、交通安全協会、交通安全指導員等の関係機関・団体との連携を保持し推進していく。なお、三納地区札の元から清水わかれ道ま

での歩道については、県公安委員会によると今年八月頃には「自転車歩道通行可」の標識が設置される予定である。



求められる安全・安心な通学路

問② コミュニティバスにおけるフリー乗降区間での対応について伺いたい。

答 フリー乗降は、交通量の多い県道などを除いた区間で導入する。バス停がなくてもバスに向かって手を上げて合図すれば乗車できる。フリー乗降区間であっても、交差点や横断歩道の前後、勾配の急な坂など、危険な場所ではできない。今後、コミュニティバスを運行する地域については、バス停や時刻表を記載したチラシを各戸配布する。

問③ 鳥獣被害対策について伺いたい。

答 二十二年度の作物被害額は、野菜百五万三千円を最高に総額三百七万七千円となっている。同年度から、竹尾、吉田の集落において、集落ぐみで花火や緩衝地帯、電気柵の設置により、鳥獣を寄せ付けない対策のモデル事業を行なって被害の軽減につながっている。この補助事業を継続し、巡視員や猟友会の捕獲班、地域のみなさんと一体となつて対策に取り組みたい。

請願・陳情 審査結果

消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願

請願者

新日本婦人の会西都児湯支部

支部長 藤崎 えい子

審査結果 継続審査

三十人以下学級実現・義務教育費国庫負担二分の一復元に係る意見書の提出を求める請願

請願者

宮崎県教職員組合児湯支部

支部長 谷 博喜 他二名

審査結果 採択

後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者

全日本年金者組合宮崎中央支部

執行委員長 伊地知 孝

審査結果 不採択

公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情

陳情者

全日本年金者組合宮崎中央支部

執行委員長 伊地知 孝

審査結果 採択

住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能を求める陳情

陳情者

宮崎県国家公務員労働組合

共闘会議 議長 工藤哲二

審査結果 継続審査

可決された 意見書

基地対策予算の増額等を求める意見書

基地交付金及び調整交付金の平成二十五年度予算における

増額と基地交付金の対象資産を拡大すること等を強く要望する意見書

公的年金の特例水準二・五%の解消に反対する意見書

国においては、高齢者の生活を守る立場や地域経済を活性化する立場からも公的年金の特例水準の解消を行なわないことを強く要望する意見書

三十人以下学級実現・義務教育費国庫負担二分の一復元を求める意見書

義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担率を二分の一に還元し、三十人以下学級の実現を強く要望する意見書

議会報編集委員会

委員長 北岡 四郎
副委員長 恒吉 政憲
委員 橋口 登志郎
兼 松道 男
吉野 和博
中野 元勝
吉野 方近
河野 保夫
狩野 夫